

目標および成果指標の設定 記入様式

活動団体名： (株)地域価値協創システム

上位関連計画にみる地域の将来  
 ○地球温暖化対策推進法や政府の目標：2013年度比で2030年までに46%削減、2050年までにカーボンニュートラル達成  
 ○第5次エネルギー基本計画における、2030年に実現を目指す再エネの電源構成比率：22～24%、  
 2030年に実現を目指す実質エネルギー効率（最終エネルギー消費量／実質GDP）35%減。  
 ○美幌町人口推移：21,575人（2010年）→18,697人（2020年）→16,156人（2030年）→13,274人（2040年）  
 ○第3期美幌町地球温暖化防止実施計画将来目標：温室効果ガス4.8%削減（令和4年）対年比  
 ○ゼロカーボンシティ宣言 2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ

②具体的な取組  
 1 環境事業  
 バイオ炭製炭事業に絡む商品・サービス開発（NPO、林産試験場、農業・林業者）  
 2 観光事業  
 炭フェス、炭カフェ開催、エコツーリズム等（NPO、商工会議所、美幌町役場）  
 3 教育事業  
 ローカルSDGs教室開催（フリースクール、中学・高校、商工会議所）

①ありたい未来  
 → <ローカルSDGsを実現した地域社会>  
 人口規模が小さく、豊かな自然環境に恵まれているオホーツク地域から率先してSDGsを実現するために、様々な地域資源を持ち寄り、地域外部のつながりも活かす仕組みをつくり、多様な人たちが理念を共有しつつ、主体的に行動し、民間主導で地域課題をかいけつしていく地域社会

③短期目標

分野	小項目	成果指標	現状値	目標値 (2023年度末)	実績値 (2022年度末)	単位
環境	脱炭素活動への関心	jクレジット申請	0	申請準備	申請準備	
	製炭利用対象資源	炭原料（廃棄物）種類数		5	2	種類
経済	事業規模	炭原料仕入れ・販売取引先数	2	5	3	社
	事業規模	製炭関連事業従事者	2	30	5	人
	事業規模	販売額		100	20	万円
社会	脱炭素活動への関心	セミナーイベント参加者数		120	80	人
	地域循環共生圏づくり	プラットフォーム構築		構築	準備	

④長期目標

分野	小項目	成果指標	現状値	目標値 (2023年度末)	目標年度 2030-2050年度	目標値	単位
環境	事業規模	環境保全ビジネス起業数	0	3	2030	10	社
経済	事業規模	製炭関連事業従事者	5	100	2030	200	人
	事業規模	循環経済規模	20	100	2030	2,000	万円
社会	SDGsへの関心	ローカルSDGsの認知度	0	5	2030	30	%
	ゼロカーボンを意識した生活	ゼロカーボンに寄与していると 感じる人	0	5	2030	30	%

⑤短期指標が長期目標にどのように関わるのかお書きください

本事業では将来的に環境保全ビジネスを創出し（環境）、それを社会福祉事業として実施し（経済）、それによりローカルSDGsを実現（社会）することを目指しています。  
 短期指標（事業終了時）である、①製炭事業関係者（購入者・原料提供者、加工者等）の増加、②ステークホルダーの増加、③事業を生み出すプラットフォーム構築が実現することで、  
 環境保全ビジネスの基盤ができ、多様なビジネスの担い手が育成され、持続可能な体制が構築されていきます。  
 私たちの会社は、社会福祉をおこなうNPO法人の連携体であり、その力を発揮できる「社会福祉と環境保全が融合した地方創生モデル」となりうる事業を目指しています。